

グループホーム こんびら
サンライズ こんびら

こんびら

vol.29

2013

グループホーム こんびら

行事報告

サンライズ こんびら

行事報告

利口げな話

特集：「へえ〜っ、そうなんだ!?
〜昔の人はすごい!!〜」第23回

編集後記

関連機関



KEIRYOKAI
produced by
医療法人圭良会

●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切に、豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、家族の一員としての介護支援を行います

●基本方針

- 1.家庭的で安全な療養環境を提供します
- 2.24時間家族の一員がそばにいる安心感もてるよう介護支援を行います
- 3.自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個別性のある介護支援を行います

～七夕会～

今年も恒例の七夕会を実施しました。バイキング形式の食事会を行い、揚げ物、赤飯、ひつまぶし、サラダ、スイカ等たくさんの料理を器に載せていました。「もう、これ以上食べれんわ」「お腹いっぱいや」と入居者様、御家族様も満足されているようでした。レクリエーションは各ユニットそれぞれ行い、歌を歌ったり、夏にちなんだ連想ゲームを行ったりして笑いや拍手が起きていました。今年も充実した七夕会が行えました。



～園芸～

グループホームでは毎年屋上にて花や野菜を育てています。入居者様と一緒に種を買いに行き、どの花・野菜にしようかいつも迷ってしまいます。今回は野菜のきゅうりと茄子とミニトマトの種を購入し育てることにしました。毎日、入居者様と職員と一緒に屋上に行き水やりを行っており、「いつ芽がでるかな～」と入居者様と職員で期待をふくらませています。日がたつにつれ、芽がでて、立派な茎が伸び、大きな茄子やきゅうり、ミニトマトが実りました。入居者様と一緒に出来た野菜を積みこ行き「立派な野菜ができたな～」「おいしそうやわ～」と満面の笑顔が見られました。今後も園芸を続け、綺麗な花や色々な野菜を入居者様と育てていこうと思っています。

～学習療法～

グループホームでは、毎日認知症の進行予防・改善に向け学習療法を行っています。学習療法とは、音読や計算を中心に入居者様と職員がコミュニケーションを取りながら行うことで、前頭前野が活性化しその機能(認知機能・コミュニケーション機能等)を回復させ、認知症の予防・改善を行うことを目的とした療法です。グループホームでは入居者様の体調に配慮しながら簡単な計算問題、数並べ、文章の音読等に取り組んでいます。今後も学習療法に取り組んで行き認知症の進行予防・改善に努めていきたいと思ひます。



●基本理念

住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

●基本方針

1. 通い泊まり訪問のサービスを、随時組み合わせた介護支援を行います
2. 地域の中での関係を大切に継続するとともに、個性性を尊重した支援を行います
3. 365日24時間切れ目のない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します

～サンライズでの日中の様子～

▶ おやつ作り中の光景です。ベテランの方が集まるとあっという間に出来ます。「昔はおくどさんでご飯を作ったんで～」と言われ、昔を思い出したくさんの話をしてくれます。今と昔で料理道具に違いはありますが、慣れた手つきですすめてくれます。



▶ 最近の流行は貼り絵です。みなさんが力を合わせて作ってくれています。今回は絵馬を作りました。自信作が完成したので「どーだ!」という気分で写真を撮りました。みなさんの中には「これが面白くてたまらん!」と言われる方も居ます。これ以外にもカレンダー、時期にあった貼り絵を作成しています。



～七夕会～

7月6日に七夕会を実施しました。今回は永生病院の調理師さんに握りずしを作っていただきました。「これはええな～」という声が聞かれ、皆さん箸がすすんでいました。他にもそうめんやサラダなどたくさんの料理があり、おなかいっぱい食べました。その後ゲームを行い、短冊に願い事を書きました。家族の方や地域の方、利用者様のひ孫さんとなる小さいお子さんも来られ、にぎやかに楽しい時間を過ごす事ができました。



利口げな話

認知症や介護について、分かりやすく説明したいと思います。



第2回 ～認知症の高齢者への具体的な接し方～

物忘れ 『ご飯はまだですか』

今食べたばかりなのに、その事をすっかり忘れてしまっていて催促するというのは、よくある症状です。大切な事は、何が事実かで争うことではなく、本人に納得してもらおう事です。「さっき食べたでしょ」と言っても「私は食べてない」と反感を持たれてしまいます。

こういう場合は「もうすぐできるから待っててね」等言って、待っているうちに忘れてもらうのが一つの手段です。また、何となく口寂しいとか、自分の好きな物を食べさせてもらえない不満からこういう訴えをしている可能性もあるので、日頃から本人の好きな物やちょっとしたお菓子を用意しておくのも方法です。

妄想 『財布を盗まれた』

大切な物をなくしてはいけないと思ってどこかに片付け、そのまま忘れてしまうことがあります。使おうと思っただけで「これは怪しい、誰かに盗られた」と疑うのです。

こういう場合は「困りましたね、一緒に探しましょう」と一緒に探しましょう。もし見つかった時も、家族が見つけると「やっぱりあんたが盗んでいた」と言われる事もあります。ですから「このあたりを探してみよう」と上手く誘導して自分で見つけてもらうようにします。見つかった時は「良かった」と喜びを分かち合いましょう。

特集

へえ〜っ、そうなんだ!?
〜昔の人はすごい!!〜

第23回



! 汗臭い下着や靴下は洗濯前にホウ酸水につける

大汗をかいた下着や靴下、子供のおねしょしたパジャマなどにおいをどうにかしたい洗濯物はホウ酸水につけ置きし、悪臭を取ってから洗濯します。ホウ酸水は水100ccにホウ酸大さじ1弱を目安にした必要量作ってください。

! 打ち水でお金をかけず涼しくなる

蒸し暑い夏、手桶の水をひしゃくで庭や道路にまいていく。昔はめずらしくない光景でした。これは、ほこりを立てずに掃除をする知恵ですが、同時に、水が水蒸気になるときに熱を奪うので冷房効果もあります。手桶やひしゃくがなくても、ホースで水をまけば涼しく夏をすごせます。



*昔から、「おばあちゃんの知恵」といわれているものは、長年の経験に基づいた先人たちの知恵の凝縮です。わたしたちも入居者の皆様から、たくさんの「へえ〜っ、そうなんだ!?!知らなかった〜!昔の人はすごいなあ〜」と、実感できるアイデアを日々、教わっています。

(参考文献:宝島社 おばあちゃんの知恵袋 決定版 生活のコツ700 編集/佐藤倫子)

編集後記

暑い季節が続いており、太陽も輝いています。こんな時に気をつけなくてはならないのが「熱中症」です。熱中症は危険な病気ですが、きちんと予防すれば防ぐ事ができます。外出する時は、日傘・帽子をしっかり着用すること、水分・塩分はこまめにとること、これだけでも十分に防ぐ事が出来ます。暑い日が今後も続きますが体調を崩さず乗りきりましょう。

グループホームこんびら・サンライズこんびら広報誌「こんびらだより」第29号

発行元：認知症高齢者グループホーム こんびら 編集者：グループホーム こんびらだより発行部

住所：〒766-0002 仲多度郡琴平町167 TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812

ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/> (永生病院のホームページよりお進みください)

eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp

発行年月日:平成25年8月1日



支援医療機関・介護保険事業所



永生病院

〒769-0311
仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300



森内科 (グループホームこんびら 建物の1階)

〒766-0002 仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188

グループホームこんびら
Tel 0877-73-0811



サンライズこんびら

(小規模多機能型居宅介護)
〒766-0004
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1
Tel 0877-58-8600

- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田102-1
Tel 0877-58-8811

